

1.講座名	RAC 学校リーダー講座 in 球磨川
2.開催日時	平成 29 年 8 月 9 日 (水) 9:00~16:10
3.開催場所	熊本県八代市 八千把小学校
4.河川名	球磨川
5.参加人数	子ども 名、大人 14名、指導者 4名
6.講座内容	(各カリキュラム毎に ①カリキュラム名称・②概要・③講師名を記載し、写真を添付。1日の活動を総括して、最後に考察を記載。)

科目名：川に学ぶ体験活動の理念

講師名：山下 吉弘

概要：

川に学ぶ体験活動の理念を、参加者それぞれのこれまでや現在の川や自然とのかかわり・川での実際の体験を聞き、5つの理念にあてはめて具体的にそれぞれの理念を学ぶ。

リーダーとして対象者となる参加者の自然体験の原点を作る活動展開を提案



科目名：川という自然の理解

講師名：金沢 緑

概要：

実際の教育現場での実例や、アクティブラーニングの実践を踏まえ、川という自然の理解には、

「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び(アクティブラーニング)」が有効であり、参加者自ら気づく手助けをし、五感を使って体感・体験できるプログラムを展開することでより深く「川という自然の理解」をすることができる



科目名：川に内在するリスクについて

講師名：宮本 博文

概要：

水辺の安全ハンドブックを参照しながら、川の構造、危険箇所、低体温症、セルフレスキューファーストなどを学ぶ。

実際の装備を使い、ヘルメット、スローロープスイムポジション、共通シグナル・サインを学ぶ座学後、実際の川で実技を实践。



科目名：川に学ぶ体験活動の基礎技術

講師名：山下吉弘、宮本博文、税田憲司

概要：

座学で学んだ川の危険箇所、装備、スローロープ、スイムポジション、泳法など実際の川で体験。体験後、学んだ泳法で中洲へ渡り、プログラムの一つガサガサを体験することで、参加者の気持(感動、発見、驚き等)を実体験し、安全管理・指導法・プログラムの展開方法・スタッフの配置などを学ぶ。



考察